

知事発言要旨

●ウクライナからの避難民に対する人道支援について

ロシアによるウクライナに対する軍事侵攻は現在も続いており、大勢の人々が避難を強いられています。

ご承知のとおり、沖縄県民は、先の大戦で、熾烈な地上戦により、かけがえのない生命と貴重な文化遺産や美しい自然を失い、想像を絶する極限状態の中で戦争の不条理さと残酷さを身をもって体験しました。

私たち沖縄県民は、世界の恒久平和を心から望んでおり、平和で真に豊かな世界に誇れる沖縄を次世代に託すことが、今を生きる我々の責務です。

私は、沖縄県知事として、こうした県民の思いを胸に、この軍事侵攻により家族や友人、知人など大切な人を失い、故郷を追われ、日常生活を奪われ、悲しみ、苦んでいるウクライナの人々のために、何ができるか考えました。

今回、人道支援としてウクライナからの避難民の皆様に対する県の支援策を検討するために、去る3月18日に「沖縄県ウクライナ避難民等支援本部」を立ち上げ、各部局等に支援策を検討するよう指示したところです。

沖縄の人々は、長い歴史の中で、先祖への敬い、自然への畏敬の念、他者の痛みに寄り添うチムグクルを育んできました。

県民の皆様におかれましても、「沖縄のこころ・チムグクル」のもと、ご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

令和4年3月29日

沖縄県知事 玉城 デニー